

情報公開文書
肝炎対策の取り組み・臨床研究についてのお知らせ
～淀川キリスト教病院肝炎対策チーム～

【目的】

化学療法施行や、免疫抑制療法において、HBs 抗原陽性の方(B 型肝炎キャリア等)や、HBV 既感染の方は、B 型肝炎ウイルスが再活性化するリスクがあることが知られています。HBV 既感染の再活性化により急性肝炎を発症すると重症化しやすいため、リスクや状態に応じて適切なモニタリングや HBV に対する抗ウイルス薬の投与を行うことが推奨されています。

また、B 型肝炎や C 型肝炎検査陽性の方に、適切な診療を受けていただくことも重要です。

そのため、当院において系統的に肝炎対策を行うために、肝炎対策チームを設立し、活動を開始しています。また、その活動の成果を評価し、診療の向上に役立てることを目的とし、下記のように臨床研究を行います。

【参加施設・組織】

当院。

【対象】

2020 年 4 月より 2026 年 3 月までに、当院にて HBs 抗原、HCV 抗体検査陽性であった患者様と、化学療法、免疫抑制療法を受けた B 型肝炎再活性化のリスクを有する患者様。

【方法】

肝炎検査陽性患者数とその中で未受診者数、介入後の転帰などを評価します。また、HBV 再活性化リスクを有する患者に対する HBV モニタリングや治療の状況、介入後の転帰などを評価します。

【予想される利益・不利益、プライバシーの保護】

通常診療の範囲内での取り組みですので、特別な利益や不利益はありません。

データ収集の際には、患者さん個人を特定しうる情報(個人情報)は院内で厳重に管理し、個人が同定されないよう匿名化した上でデータの収集、解析が行われます。この取り組み・研究の成果は、学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、その際にあなたのお名前や身元などが明らかになることはありません。また、この取り組み・研究は各病院の倫理委員会の承認を得ており、患者さんの権利が守られている事や 医学の発展に役立つ情報が得られるであろうことが、複数の専門家により認められています。

【取り組み・臨床研究への質問や辞退について】

この取り組み・臨床研究に関してご質問がある場合や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが主治医または以下の連絡先へご連絡ください。

分担研究者 淀川キリスト教病院 消化器内科・肝炎対策チーム

副部長 藤田 光一

医長 平野 仁崇

連絡先 電話:06-6322-2250(代表)